

# 開教

Kaikyo

## HONEN BUDDHISM

JAPAN, HAWAII, NORTH AMERICA, SOUTH AMERICA, BRISBANE, PARIS

Volume  
33  
HONEN BUDDHISM  
2015

浄土宗開教振興協会  
会報〔開教〕

ハワイ  
開教区

### ハワイ開教120周年 記念シンポジウム

浄総研 藤本所長が開教の理念明示

南米  
開教区

### マリンガ日伯寺・ パラナ老人福祉和順会 創立40周年記念行事を終え



北米  
開教区

### 北米における布教活動

オーストラリア  
開教地

### 写経会とオープンデー

フランス  
開教地

### フランスの地に根差して ～新拠点アコンでの交流会～

国内開教  
通信

### 国内開教寺院第2世として ～喜びと苦労の先に～



淨土宗  
Jodo Shu  
Buddhist Denomination

## 目 次

CONTENTS

## 2 ご挨拶

浄土宗宗務総長  
浄土宗開教振興協会会长 豊岡 錄尔



## …海外開教…

## 3 ハワイ開教120周年記念シンポジウム

浄総研 藤本所長が開教の理念明示

ハワイ開教区 開教総監 原 源照

## 5 マリンガ日伯寺・パラナ老人福祉和順会

創立40周年記念行事を終え

南米開教区開教使 佐々木 良法



## 7 北米における布教活動

北米開教区 総監 後根 定璽  
開教使 田中 孝道



## 8 写経会とオープンデー

オーストラリア開教地 ウィルソン哲雄

## 9 フランスの地に根差して～新拠点アコンでの交流会～

フランス開教地 高僧 光隆

## 10 ～浄土宗開教ネット(仮称)の紹介～



## …国内開教…

## 11 第5回開教公開カンファレンス

## 14 国内開教通信

## 国内開教寺院第2世として～喜びと苦労の先に～

埼玉教区自然寺 辻一貴



## 15 各開教区開教使名簿

16 浄土宗開教振興協会

## 平成26年度 会員名簿

■ 浄土宗開教振興協会 役員名簿  
■ 浄土宗開教振興協会 事業報告



23 浄土宗開教振興協会

## 平成26年度 決算書

## 25 平成26年度 教区别正会員比率

26 海外・国内開教使募集  
編集後記

# ご挨拶



淨土宗宗務総長  
淨土宗開教振興協会会长  
豊岡 鎧爾

淨土宗の開教、特に海外開教については常々申し上げておりますが、考えてみるとときが来ているように感じます。

昨年、私共の開教地の一つであるフランスでテロが勃発し、多くの人命が失われました。不幸にも命を亡くされた方々のご冥福をお祈り申しあげ、合掌、お念佛申すところでございます。

こういった不幸な事象が、いつまた私共の関係者にも降りかかるかとを考えると、恐怖と不安を抱かざるを得ません。開教を志し、当地でその業務に従事されている皆さんはどんなお気持ちなのか、心を痛めています。

淨土宗開教振興協会としても、何らかの決断をしなければと考えます。理事長はじめ役員の皆様、そして多くの会員の皆様、また海外開教に従事されている各総監・開教使の方々とともに、議論してまいりたいと考えております。

海外開教に従事している皆様の先には、多くの現地の淨土宗檀信徒の方々がおられます。

その方々とも話しあつていただき、どのように考えておられるのか、また開教使としてどうあるべきなのか、いま一度熟慮してご意見をいただけないかと思います。多くの檀信徒にとつて、開教寺院、開教使が必要とされ大切にされる

ものでなくてはなりません。日頃から努力されていると思いますが、その存在が見えてこないといけないと考えます。

一方、国内の開教についてはどうでしようか。まだまだ足りない、そんな思いです。淨土宗の寺院だけでなく、佛教寺院が全く存在しないところがあると聞いております。お葬式、法事も必要でしょうが、私共の宗祖法然上人のお念佛のみ教えを広めなくてはならないのは自明です。命の大切さは当然ですが、『縁の手帖』にもあるように、そのあり方を説かなければならぬと思います。日本全国、高齢化の波は押し寄せます。年を重ねることの不安を、誰かに相談したくてもできない。どこへ行つて尋ねたらいいのか?といった声が聴かれます。単に開教ということではなく宗門のあり方が問われるときでもあります。一宗挙げて取り組むべき問題であり、私達淨土宗教師のあり方が問われます。

意識改革、資質の向上が必要です。淨土宗の開教のあり方とともに、ご一考賜りたく存じます。

合掌

～明日への開教めざし～

# ハワイ開教120周年記念シンポジウム

ハワイ開教区総監 原 源照

浄土宗のハワイ開教は、明治27(1894)年、布哇宣教会によつて派遣された松尾諦定、岡部学心の両師によつて始められ、以来、当開教区は戦前、戦中、戦後のハワイ社会の激動の中に120年の歩みを刻んできた。

明治29(1896)年、岡部師によつて最初の寺院ハマクア佛教会堂が開創されてより、ハワイ各島に順次、ラウパホエ工(戦後廃寺)、オーラア(現カーチスタウン)、カパアウ(現コハラ)、ハカラウ、ワイナク(戦後廃寺)、淨土宗開教院(現別院)、ハヴィ、コロア、プウネネ(現カフルイ)、ヒロ、カパア、ハレイワ、

ラハイナ、ワイルク、エワ(戦後廃寺)等の寺院が設立され、太平洋戦争時の開教使抑留、寺院活動の休止はあつたものの、寺院はそれぞれの時代に、それぞの地域社会のニーズに応え、宗教、文化、教育(日本語学校経営等)のセンターとしての役割を果たしてきた。

一昨年(平成26・2014年)開教120周年を迎えた当開教区では、9月21日、岡部師が建立されたハワイ最初の寺院ハマクア佛教会堂(現ハマクア淨土院)において、先達先師に報謝し、120周年記念法要を営んだ。

初日の基調講演は淨土宗総合研究所所長で、岡部師の出身寺、山口県大島郡、西蓮寺の住職藤本淨彦博士が「法然仏教東漸

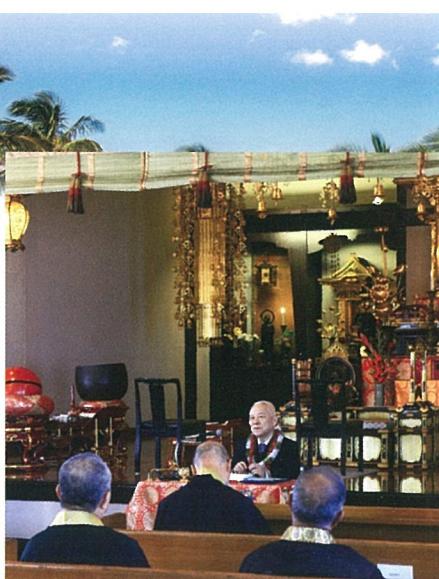
さらに近年ハワイ社会は激変し、今後の開教は日本仏教のルーツに立ちつつ世界的な視点を持つことが急務であるため、平成27(2015)年3月14、15日の両日、ホノルルのハイ淨土院別院において、「法然仏教東漸」(Honen Buddhism, East to West)をテーマに掲げ、明日の開教を考える120周年記念シンポジウムを開催した。同会にはハワイ各島からのメンバーも含め約50名が参加した。

「法然仏教東漸」は、ただ学術的な概念ではなく、現実にハイアメリカ本土、ブラジルで生きているものであり、法然上人の教えを日本以外に開教するとき、それらの場所(境界線)でどのように教えが伝えられるかと、その実践(翻訳)の大切さについて藤本所長は講述された。





シンポジウムの開白法要後



浄土宗総合研究所の藤本所長による講演

藤本所長は「宗教の課題と  
して、グローバルな問題  
提起の importance」を説き、  
「ローカルを土台にしなけれ  
ばグローバルは現実性を有す  
ることができない。

ハワイにおける法然仏教とは  
日本の移植の時代（1、2世の  
日系人）からハワイ的内実へと  
根付き生成する時期（3世以降  
の人々）を迎えてる。法然仏  
教がハワイという風俗・習慣・  
言語・人種・価値観・文化レベ  
ルにおいて根付くハワイの念  
仏が喫緊の課題となろう。

僧侶は常に「宗祖の教え」と  
「時代・世論・人々の現状況」  
という両者の境界線の上に立  
つ。揺るぎない不動の大地（宗  
祖の教え）があるゆえに寄せて  
は引く波時代・世論・人々の現  
状況」とが出会う「波打ち際」を  
と、開教使に対し重要な示唆を  
与えられた。

藤本所長の基調講演に応え  
て、北米開教区の後根定璽総監

が、キリスト教社会における  
法然仏教伝道について、キリ  
スト教的思惟と仏教的思惟の  
相異、先祖供養の思想のない  
日本人に対するシンポジウム」が  
行われ、北米、ブラジル、ハワイ  
での各寺院の実践、諸課題に  
ついて、ブラジルの佐々木工  
ドワード良法開教使、ハワイの  
レナード・チャウ教区理事長か  
ら現地の現状と将来の展望を  
発表するなど、熱心な質疑応  
答が行われた。次いでニューヨークでインターネットを通じ  
て、ジネス・フォーラムグループを  
主宰するゲリー・リンク氏が、  
法然仏教の可能性について、  
幾多の建設的提案を示した。

同シンポジウムには、日本  
からも浄土宗元海外開教使会  
の田中康道会長、原勇哲副会長、  
工藤純裕事務局長がかけつけ、  
海外開教活動を激励した。  
また、北米、南米、ハワイの代  
表者が交流を持ったことで、今  
後の開教事業への一体感を深  
める実り多い研修となつた。



藤本所長の話を聞く開教使

(※注) グローカル・グローバルと  
ローカルの混成語

合掌

追記 なお、同シンポジウム  
は開教振興協会の助成によつて  
実現できたことを心より感謝  
申し上げます。  
このシンポジウムで得た学び  
を胸に、ハワイ開教区は平成31  
(2019)年に迎える開教125周年  
に向かつて、次世代への念仏  
の法燈の継承を目標に、各種  
事業を企画・推進中です。  
諸大徳各位の一層の御高尊を  
懇願申し上げます。

# マリンガ日伯寺・ パラナ老人福祉和順会 創立40周年記念行事を終え

南米開教区開教使 佐々木 良法

平成27年6月6日、マリンガ日伯寺並びにパラナ老人福祉和順会の創立40周年を祝した記念式典が、パラナ州内外より集まつた500名以上の檀信徒・会員及び関係者とともに、盛大に挙行されました。この記念行事は、日本ブラジル外交関係樹立120周年の公式記念行事でもありました。

賜り、法要に参列した、佐々木陽明開教總監・和順会理事長、開教使、また、堂内が狭く感じるほどの多数の参拝者一同、感激もひとしおでした。

法要後、和順ホーム大講堂にて、内外からの多数の来賓、参加者を迎へ、40周年記念式典が開催されました。まず、長谷川匡俊大乘淑徳学園理事長より、長谷川良信初代開教總監及び歴代開教使達の偉大な挑戦による社会事業がもたらされた歴史的な軌跡を賞賛した。神田眞晃師(大阪・法善寺住職)による導師、豊岡鐸爾宗務総長からの祝辞(前田晃秀・滋賀・若王寺住職代読)を

その誰もが皆、彼らの両親が為した事の規模の大きさと重要性を今日あらためて理解したことによる、誇りと懐かしさがないまぜとなつた表情を浮かべていました。

この佳き日を祝うかのよう真っ青に晴れ渡つた秋晴れの下、はじめに、マリンガ日伯寺本堂にて記念法要が厳修されました。神田眞晃師(大阪・法善寺住職)による導師、豊岡鐸爾宗務総長からの祝辞(前田晃秀・滋賀・若王寺住職代読)を成期における先駆者、功労者達の後継者で占められており、

者の多くは、当社会事業の創始者による導師、豊岡鐸爾宗務総長からの祝辞(前田晃秀・滋賀・若王寺住職代読)を





伊藤唯眞淨土門主猊下の祝辞を代読する神田眞晃師

ブラジルは、もうすでに「若者たちの国」ではありません。その社会は、「高齢化」というテーマに対処するため、行動的及び文化的な問題を抱えています。和順会のような機関は、対象者です高齢者たちが、マリンガ日伯寺内で行っている、生活の質の向上を促進する活動に参加するため、月に何日か通つてきています。それは、現在の開教に携わる私たちが、正義と尊敬、思いやりという遺産を残してきた先人たちによって提起された社会事業を称え続けていきたい、と願う精神とともにあります。

私たちは今、高齢化という社会問題に対するディスカッションを行い、それに対処するための活動を構築・展開しています。その一つの例となるのが「元気プロジェクト」です。同プロジェクトは、マリンガ日伯寺及び和順会と一般社会をつなぐ、高齢者をケアしていく上での橋渡し役的な活動と言えます。具体的には、一般社会の中で家族と共に暮らす高齢者たちが、マリンガ日伯寺内で行っている、生活の質の向上を促進する活動に参加するため、月に何日か通つてきています。それは、現在の開教に携わる私たちが、正義と尊敬、思いやりという遺産を残してきた先人たちによって提起された社会事業を称え続けていきたい、と願う精神とともにあります。

私たちも、高齢化という社会問題に対するディスカッションを行い、それに対処するための活動を構築・展開しています。その一つの例となるのが「元気プロジェクト」です。同プロジェクトは、マリンガ日伯寺及び和順会と一般社会をつなぐ、高齢者をケアしていく上での橋渡し役的な活動と言えます。具体的には、一般社会の中で家族と共に暮らす高齢者たちが、マリンガ日伯寺内で行っている、生活の質の向上を促進する活動に参加するため、月に何日か通つてきています。それは、現在の開教に携わる私たちが、正義と尊敬、思いやりという遺産を残してきた先人たちによって提起された社会事業を称え続けていきたい、と願う精神とともにあります。

及びその家族が、前述の問題が抱える現実に直面したとき、自然かつ安心して対処できるよう、問題解決の手助けをする道徳的義務があります。また、今日まで日本移民によって伝えられた仏教的な知恵の遺産は、ブラジルと呼ばれる、このまだ歴史の浅い国の社会の進化と発展に、極めて重要な貢献をもたらしています。



会場中が笑いに包まれた月亭八方師匠による落語



開教使が披露する仏教説話のパネルシアター

北米開教区 総監 後根 定聖  
開教使 田中 孝道

# 北米における布教活動

子どもの健やかな成長を願って

キリスト教国アメリカでは、故人の追善回向を行う習慣はありません。ゴッド(神)が人間の生死を決定し、死後の存在はゴッドの手中にあります。よつてキリスト教会で故人の恩を語ることは無く、先祖に対する感謝の念はゴッドに向けられます。

こうした宗教的・文化的背景をもつたアメリカでは、日系アメリカ人でさえ自然に追善回向から遠ざかっています。アメリカ人でさえ自然に追善回向から遠ざかっています。ほぼ80年の歴史を数える北米開教においても、三代続いた檀家(メンバー)はありません。当地の小・中学校では、子ども達が毎朝星条旗の前で胸に手を当て「私達はゴッドの下で一つになった自由と正義の国、合衆国に忠誠を誓います」と『忠誠の誓い』を暗唱し、大統領就任式では「アメリカにゴッドの祝福がありますように!」と大統領が誓います。ハーバード・イエール・プリンストンなどの多くの大学も、元々は『聖書』の言葉を読み解いていくための神学教育から始まっています。つまり西洋文明の受容

とはキリスト教化であるとも換言できるでしょう。そこでこの宗教には「縁起」や「業(カルマ)」の法が存在せず、「家族より「個人」中心のものとなります。



厳かな雰囲気で行われる別時念仏会

超える一般参詣者があります。日本語ラジオ放送も3年目になり、近頃は「お寺が遠い存在でなくなってきた」との言葉を頂いています。長い時間かけてコツコツと社会との信頼感を築くことの重要性を痛感しています。

北米本院の定例法要では、婦人会が早朝からお齋を用意し参詣者に振舞いますが、法要後のかです。

海外開教においては、当地の異なる文化を正しく理解する努力、また逆に、法然上人のみ教えの純粹化という相反する二面を追わねばなりません。これから浄土宗を背負う若い教師の方々にもぜひロサンゼルスにて見聞いただきたいと存じます。

日本人・米国人が仏教寺院に求めているものを汲みとり、それにどうお寺が応えて行くかです。

北米本院の定例法要では、婦人会が早朝からお齋を用意し参詣者に振舞いますが、法要後のかです。

海外開教においては、当地の異なる文化を正しく理解する努力、また逆に、法然上人のみ教えの純粹化という相反する二面を追わねばなりません。これから浄土宗を背負う若い教師の方々にもぜひロサンゼルスにて見聞いただきたいと存じます。





# 写経会とオープンデー

オーストラリア開教地 ウィルソン哲雄

2015年から阿弥陀寺の行事として「写経会」と「オープニングデー」を始めました。これは、阿弥陀寺に人が集うための方法として、以前より考えていたことです。

日本から用紙などを取り寄せて始めた「写経会」には、阿弥陀寺の近くに住む若いカップルが早速参加してくれました。日本人の奥さんは日本にいた頃に経験されたそうですが、オーストラリア人の旦那さんは初めての写経となりました。しかし、彼はグラフィティ(文字アート)や絵画を趣味としているため、書道を芸術として自然と受け入れられた様子で、四誓偈を書く彼の顔からは集中力が伺えました。何より喜ばしいことは、私が四誓偈の意味を説明した時、彼がその意味に理解を示してくれたことでした。後日、彼がよく写経の練習をしていること、法然

上人のみ教えを深く信じるようになつたと奥さんから聞きました。

また、月に2回、第2・第4土曜日に阿弥陀寺に自由に入りできる「オープニングデー」という日を設けることにしました。これは以前行なつていた御法語講話会のかわりとなるものです。

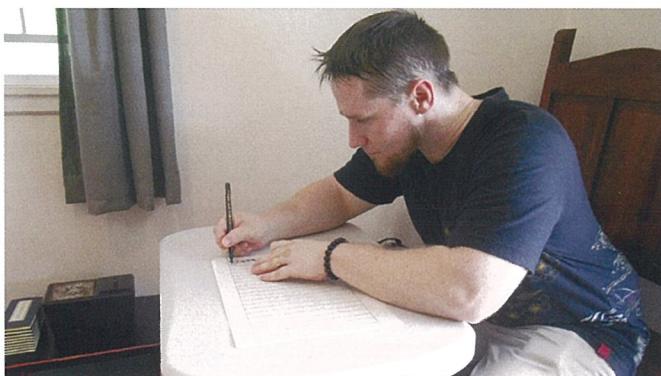
講話会には大勢の方々が参加してくれましたが、年月が経ち参加者が減少してしまった。周りの方々の意見を聞いていくうちに、参加者の聞きたいと思っている事がそれぞれ異なっていることに気付かれました。そこで、オープニングでは参加してくれる人それぞれの理解度や関心度に合わせて教義を説くことにしました。「もつと浄土宗の話、仏教の話を聞きたい」という周りの人の声もありましたので、

最後になりますが今年、私は阿弥陀寺で「寺子屋」を始めることにしました。毎月第1・第3土曜日の午前中に行います。これは、日本語の本の読み聞かせを行なつていて事業「マグパイ文庫」のかわりとなるものです。

マグパイ文庫では、あいにく本の冊数が十分でなく読み聞かせ活動の続行が難しくなり

浄土宗全般、仏教全般に対し興味のある人全てを対象とし、私に質問できる場所となっています。また、日々の生活においての悩みを相談できる場でもあり、さらには茶道など日本文化を楽しむこともできます。最近では地元アシュグローブに住むオーストラリア人男性がオープニングデーに毎回参加するようになりました。彼は今、念佛を唱え日常勤行を学んでいます。

ましたが、かわりに寺子屋でアシュグローブ周辺に住む小学生に日本語を教える時の教材としてマグパイ文庫にある本を使いたいと思っています。



熱心に写経する男性

# フランスの地に根差して

～新拠点アコンでの交流会～

フランス開教地 高僧 光隆

2015年7月4日、浄土宗ヨーロッパ仏教センターの創立

8周年を記念して新拠点アコンで地域住民との交流会を開催しました。多くのフランス人にとって、「Zen(禪)」や「チベット仏教」という言葉は知られています。とはいっても、仏教は未だ馴染みのない宗教です。ましてや、

昨今の様々な宗教間の摩擦や紛争が現実問題として身近に存在するフランスです。当センターが誤解を受けずに活動するためにも、地域の人たちとの交流を深め、信用されることが重要であると考え、交流会の開催を計画いたしました。

以前にもご報告したとおり、現在の拠点はパリ西方の風光明媚な丘陵地帯にあるアコンという村です。日本でもそうですが村という小さな地域社会に異宗教の拠点を設けることは、その地域の人達にとって

興味と不審の対象となります。

そこでまず、準備として昨年末に市役所へ赴いて市長に面会し、私が日本仏教の僧侶であり、このアコンの家が活動

の拠点であることを説明、そして地域の人たちとの交流会を開きたい旨を話しました。フ

ランスでは、新参者は近所の人達を家に招いて飲み物などを出し、挨拶をする習慣があります。そのため交流会には市長や自治会の人を招待したいことを伝えたところ、移り住んできた日本人が「絵書き」で「仏教僧侶」ということで興味をもつて受け入れてもらいました。

2015年7月はとても暑い夏になりました。4、5日前より、庭に幾つものテントを張り、テーブル、椅子を設置するなど準備を開始。近所の人たちは親切に協力、援助してくれました。開催前日、当センターの



これからも地域住民の方々とともに  
(高僧師および市長夫妻)

メンバー数人が泊まり込みで料理の仕込みをしました。交流会のメニューは焼き鳥や寿司など。日本料理はマンガと共にフランス人に人気です。

当日は40度に迫る猛暑の中、

市長初め自治会の方々とメンバーサーにて50人程が集まりました。多くのメンバーには早朝よりお手伝いに来ていただききました。

まず当センターを代表して挨拶をしました。日本仏教にはいくつかの宗派があり浄土宗はその一つであること、12世紀に開宗され日本でも長い歴史があること、宗祖法然上人

は他の国文化・思想についても佛教について未だ何も知らないものの興味を持ついると話されたため、私からも今後も佛教について講演したい旨を伝えました。

新拠点の庭に広げた幾つのテントの下、メンバーが手塙にかけた料理にみな舌鼓を打ち、炎天下の歓談をしました。すばらしい会だったと参加の方々から好評をいただき、市長、自治委員、そして住民の方々との新たな絆を感じています。

今後もこの地より浄土宗の教えを広めていこうと思います。

インターネットによる情報発信

# ～浄土宗開教ネット(仮称)の紹介～

The screenshot shows the homepage of the Nembutsu Kōkyō Net. At the top, there's a banner with the text "浄土宗開教ネット" (Nembutsu Kōkyō Net). Below it is a navigation bar with links to "トップ", "国内開教寺院", "ハワイ開教区", "北米開教区", "南米開教区", "フランス開教地", and "オーストラリア開教地". The main content area features a large image of a golden Buddha statue in a highly decorated altar. Below the image are several buttons for navigating between different regions: "国内開教寺院", "ハワイ開教区", "北米開教区", "南米開教区", "フランス開教地", and "オーストラリア開教地". Each button has a small description underneath.

開教ネット トップページ(案)

「海外開教区の寺院は  
どんな活動をしているのかな?」  
「開教使の活動を  
日本国内に伝えたい!」  
開教振興協会では  
その想いを形にします。

浄土宗では、開教事業として海外および国内に数多くの開教寺院を有しており、開教寺院や開教使の活動をいち早く日本国内に伝えるためのウェブサイト「浄土宗開教ネット(仮称)」の立ち上げを企画中です。この開教事業への支援の一環として、開教振興協会では現在、海外および国内の開教寺院や開教使の活動をいち早く日本国内に伝えるためのウェブサイト「浄土宗開教ネット(仮称)」の立ち上げを企画中です。

「浄土宗開教ネット(仮称)」では、ブログ形式のウェブサイトにして、開教振興協会では現行の開教事業への支援の一環として、開教振興協会では現在、海外および国内の開教寺院や開教使の活動をいち早く日本国内に伝えるためのウェブサイト「浄土宗開教ネット(仮称)」の立ち上げを企画中です。この開教事業への支援の一環として、開教振興協会では現行の開教事業への支援の一環として、開教振興協会では現在、海外および国内の開教寺院や開教使の活動をいち早く日本国内に伝えるためのウェブサイト「浄土宗開教ネット(仮称)」の立ち上げを企画中です。

開教ネット トップページ(案)

浄土宗では、開教事業として海外および国内に数多くの開教寺院を有しており、開教寺院や開教使の活動をいち早く日本国内に伝えるためのウェブサイト「浄土宗開教ネット(仮称)」の立ち上げを企画中です。この開教事業への支援の一環として、開教振興協会では現行の開教事業への支援の一環として、開教振興協会では現在、海外および国内の開教寺院や開教使の活動をいち早く日本国内に伝えるためのウェブサイト「浄土宗開教ネット(仮称)」の立ち上げを企画中です。

The screenshot shows the Australia branch page of the Nembutsu Kōkyō Net. At the top, there's a banner with the text "浄土宗開教ネット" (Nembutsu Kōkyō Net). Below it is a navigation bar with links to "トップ", "国内開教寺院", "ハワイ開教区", "北米開教区", "南米開教区", "フランス開教地", and "オーストラリア開教地". The main content area features a map of Australia with various icons representing temples or points of interest. Below the map is a video player showing a man in a suit speaking. To the left of the video player is a text box with Japanese text. At the bottom, there's a section titled "各寺院から情報発信" (Information from each temple).

画像や動画も  
アップロード出来ます

現在、今夏の公開を目指して調整中です。「浄土宗開教ネット(仮称)」が立ち上がりましたら、ぜひともご覧いただけますようお願い申上げます。

※画像はサイト制作中のものです。

平成27年2月5日(木)  
13:00~16:30

## 大本山増上寺「慈雲閣」

第  
5

# 開教公開カンファレンス

Kaikyo Public conference

2015年2月5日、大本山  
増上寺の慈雲閣にて、浄土宗  
開教振興協会主催による第5

による活動報告を交えながら  
紹介する機会となつた。

開教公開カンファレンス「未  
来の布教へのヒント～浄土宗  
の国内開教事業～」が開催さ  
れ、浄土宗の国内開教事業の  
紹介や国内開教使経験者によ  
る活動報告、意見交換が行な  
われた。当日は、雪交じりの  
雨という天候にも関わらず、  
浄土宗教師や寺院約60名が参  
加、国内開教事業への理解を  
深める公開講座となつた。

これまで、主に海外開教  
区・開教地の紹介を目的に開  
催され、総監や開教使による  
講演やディスカッションが行  
なわれてきた開教カンファレ  
ンス。今回は国内に目を向け、  
人口増加が進む都市部での布  
教活動や寺院設置の現状など  
国内開教とはどのような事業  
なのか、どのように取り組ん  
でいるか、国内開教使経験者

第一部として、開会にあたり、  
国内開教事業を所管する社会  
國際局の宮林雄彦局長（当時）  
より、本宗による現在の国内開  
教への取り組みについて説明。  
「現代社会では地域人口の流動  
による過疎・過密化が進んで  
おり、特に都市部では人口流入  
に伴い、寺院不足の地域も存在  
している。浄土宗では、それら  
の地域に対して、地域の方々の

心の拠り所となる、法然上人の  
御教えを発信する拠点となる  
寺院を育んでいくための施策  
を展開しており、今までに約  
20の国内開教指定寺院が建立  
された。実際に、今回報告を行  
なう国内開教使経験者3名は地  
域に根付いて活躍されている。  
この事業の意義をご理解いた  
だくとともに、是非とも皆様の  
ご協力を仰ぎたい」と述べた。  
第二部では、次のとおり国  
内開教使経験者3名による活  
動報告を行なわれた。



小川寧山師(埼玉教区先光寺)

## 社会と繋がる寺院に 埼玉教区先光寺 小川寧山師



永田英司師(神奈川教区桂林寺)

埼玉県の新興住宅地で学校教師をしながら僧籍を取得し、地域の方々に支えられて活動を行なっている小川寧山師(埼玉教区先光寺)は、「30年以上前に訪問した沖縄の戦跡を目当たりにして手を合わせる中で、供養とはどういうものかを考えさせられました。教職をしながらもご縁があつて佛教大学通信教育等で学ぶことができ、浄土宗教師となることができました。僧侶となつた後、近所の方々の仏事相談などの話を聞いているうちに徐々に信頼され、人々が集まるようになつてきました。ご本尊や仏具、寺院の庭や駐車場など

ライフケアの日本画制作を通して神奈川県の都市部で開教活動に取り組んでいる永田英司師(神奈川教区桂林寺)は、「平成19年から国内開教使として活動し、この平成27年2月に宗教法人の登記が完了しました。社会的信頼性という観点からすると宗教法人設立の意味は大きく、民生委員など地域に根付いた役に就いたことにより少しずつ周辺住民の信頼を得られ、信者の方も増えていきました。また、新

境内も地域の方々のおかげで整備されてきましたし、新しい寺院であるため、周りの方々にも興味を持つていただけているように感じます」と語った。また、「社会全体の高齢化に伴い、日頃の健康への関心が高まっているようです。今後は、病院(医療)と寺院が繋がることが出来るような形態の事業を行なつていきたいと思います」と述べた。

## 絵画制作活動を活かして 神奈川教区桂林寺 永田英司師

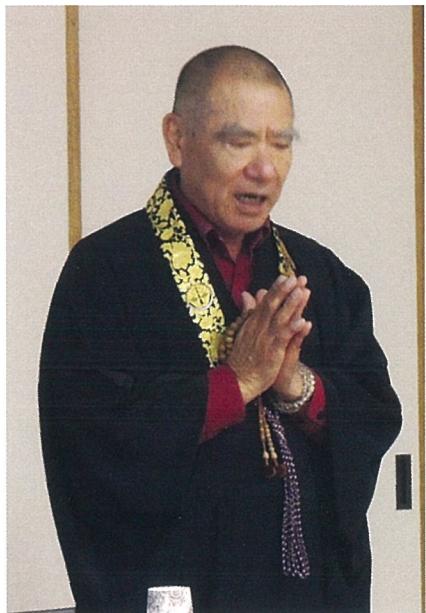
永田英司師(神奈川教区桂林寺)

興住宅地のため周辺には浄土宗寺院がなく、遠方の寺院から檀信徒の紹介を受けることもあります。新しくご縁をいたいた方との関係も大切にしております」と述べた。元々、浄土宗芸術家協会の会員であった永田上人は、「沖縄の袋中上人の肖像画制作を依頼されたことが縁で開教使を志望させていただきました。長年行なつてている日本画制作を活かした仏画教室や写経教室を開催するなど、視覚を通してお念佛、法然上人の御教えをお伝えし、くつろげる開かれた寺院を目指し活動しております」と語った。

## ゼロからの寺院設立の中 三州教区楽邦寺 宮城親照師

宮城親照師(三州教区楽邦寺)

独特な宗教文化が根付く沖縄で開教活動を行なっている宮城親照師(三州教区楽邦寺)は、「沖縄は、歴史的に仏教が消滅間際まで衰退し、太平洋戦争により灰燼に帰した土地です。日本に復帰した後、檀信徒や寺院組織もない中で、住職個人の熱意だけで多くの寺院が再興されました。本土のような檀家制度がなく、地縁や血縁という括りが強い沖縄では、その地域の中に溶け込んで活動できるかが大きな課題となります」とその苦労



宮城親照師(三州教区楽邦寺)



パネルディスカッションの様子

を語った。また、同じ国内開教使経験者の意見として、「伝統仏教の素地がない沖縄では、まず浄土宗が伝統的な仏教教団であることを証明しなくてはならない。地域に浸透した布教活動を行なうために一番良い方法は、浄土宗新聞や書籍を配布すること。国内開教指定期間を過ぎてからも提供を受けられるようにするなど、宗務のより長期的なサポートが必要なのではないか」と語るとともに、「子弟の養成や後継者の問題などについても、

宗務として方向性をもつた施策や指導マニュアルの作成などを望みます」との要望も述べた。

その後、第三部では、講演者3名のほか、国内開教使経験者の笠原泰淳師（東京教区林海庵）、および国内開教委員会副委員長の武田道生師が加わりパネルディスカッションが行なわれた。本宗の国内開教事業に関わる武田師は3名の活動報告を受けて、「開教には海外も国内もない。現に沖縄では本土復帰後に仏教が浸透していくが、何もない状況からのスタート」という意味では海外開教区の始まりと同じであった。また、現在の東京などの都市部も沖縄同様に行なうのとは違う。全く仏教に縁のない人たちをどうやって結び付けて教えを広めていくか、その方法が今後の課題になる」と述べたほか、笠原上人からは「体験しても

り、そこで「お寺の敷居は高い」というイメージをどうやつたら払拭できるか、「伽藍を建てるこのの大変さについて、「葬儀をきっかけとした檀信徒との縁について」など、多岐にわたるディスカッションが行なわれた。

その後、第三部では、講演者3名のほか、国内開教使経験者の笠原泰淳師（東京教区林海庵）、および国内開教委員会副委員長の武田道生師が加わりパネルディスカッションが行なわれた。本宗の国内開教事業に関わる武田師は3名の活動報告を受けて、「開教には海外も国内もない。現に沖

らうことことが重要。例えば、法要の時には袈裟や数珠を用意し、経本をわたして一緒に読む、そしてお経の意味を説明するなど、とにかくお檀家の方に参加意識を持つてもらうことを大切にしている」と自らの活動の経験を語った。

そのほか、「お寺の敷居は高い」というイメージをどうやつたら払拭できるか、「伽藍を建てるこのの大変さについて、「葬儀をきっかけとした檀信徒との縁について」など、多岐にわたるディスカッションが行なわれた。

参加者からは「国内開教を初めて知った」「何もない状態から寺院を建立し、維持する



田中康道開教振興協会副理事長



最後に、閉会の挨拶を行なった開教振興協会副理事長の田中康道師は、「過去5回開催してきた、一番いろいろな話が聞けたカンファレンスだったと思う。それぞれの立場で今日の内容を活用していただきたい」と語った。

# 国内開教寺院 第二「世」として

～喜びと苦労の先に～

国内開教寺院は開山上人（国内開教使）にスポットが当たりますが、その「2代目」としての苦労が見過ごされがちです。後継者（第2世）として奮闘する埼玉教区自然寺の辻一貴上人におはなしをいただきました。

## 後継者として

私は、縁あつて浄土宗の教師資格を取得後、9年間の学校勤務を経て、（財）浄土宗報恩明照会（現・（公財）浄土宗ともいき財団）に勤めていました。

ある時、社会国際局の方から自然寺の後継者のお話をいたしました。先代藤木雅清

師（開山上人）が自然寺を開山した後、先代の兄（東京教区貞源寺住職）が遷化され、そのお寺も兼務することになつた時です。先代は、お寺を開山する一方、もう一ヵ寺

も精力的に務めるバイタリティーあふれる方で、正直、

私には難しいとの思いもありましたが、師僧や担当の方から

先代の人柄に触れ決意しました。平成18年4月に副住職として入山し法務、運営等を勉強、平成25年に住職を拝命しました。

そのため、これも基本的なことですが、信徒さんとの交流を増やすため、これまで、年中行事は施餓鬼会と十夜法要だけでしたが、平成26年1月よりお寺の集いを2ヵ月に1回ほどのサイクルで開催しています。参加者と一緒にお勤めをした後、御詠歌や談話会等を行っていますが、このような行事の参加者が将来お寺を支えてくれる核となつて

は、最初の接し方にかかつています。だからこそ私は、誰に対しても親切な対応を心がけています。そんなこと基本だ！と思われるかも知れませんが、私はこの「基本」を大事にしています。



## 苦労の先に…

近い将来、本堂、庫裏、客殿整備を考えています。今のが建物は、平成元年に倉庫兼事務所として建てられたもので、外見から寺院に見られないことが多い、老朽化や耐震の面でも心配です。また、納骨堂の建立も検討しています。

お寺を開山することはもちろん、お寺を続けていくことも苦労の連続です。他の国内開教寺院の方ともこの苦労を共有しつつ、素晴らしい寺院になるよう、お互いに協力できれば、と思っています。



辻一貴上人

昭和48年東京生まれ。平成7年に僧籍取得。平成18年に自然寺へ入山し、平成25年より住職を務める。

いただければありがたい。やはり寺院は、支えてくれる檀信徒の方々あつてのものですから。

## 「基本」に徹して…

国内開教寺院には長いお付き合いの檀信徒はおらず、初めご縁をいたく方々ばかりです。したがって、その後も信徒となつていただけるか

# 各開教区開教使名簿

平成27年12月31日現在

## 開教区

	氏名	赴任寺院
ハワイ	開教総監 原 源照	ラハイナ浄土院
	開教使 ワジラワンサ舜爾	ハマクア浄土院・ハヴィ浄土院・コハラ浄土院
	橋柴 裕文	ハワイ浄土宗別院
	江崎 晃司	ハレイワ浄土院
	石川 広宣	コロア浄土院
	宮寄 潤心	ヒロ明照院・カーチスタウン浄土院・ハカラウ浄土院
	原 潮音	ワイルク浄土院・カフルイ浄土院
	中野 寛淳	ハワイ浄土宗別院
北米	開教総監 後根 定璽	北米開教本院・シカゴ浄土宗教会所
	開教使 田中 孝道	北米開教本院
南米	開教総監 佐々木陽明	南米浄土宗別院日伯寺
	開教使 稲場 明忠	南米浄土宗別院日伯寺
	根石 啓史	南米浄土宗別院日伯寺
	佐々木良法	マリンガ日伯寺
	櫻井 聰祐	イビウーナ日伯寺
	大江田晃義	クリチバ日伯寺

## 海外開教地

氏名	指定地域
James Wilson 哲雄	オーストラリア・ブリスベン
高僧 光隆	フランス・パリ

## 国内開教指定寺院

住職名	寺院名	所在地
吉川 輝昌	輝照寺	千葉県習志野市

## 会員名簿

■原則として功績点付与者を  
掲載しています。

名譽会員  
(所属は納入時)

[教区／組]  
〔寺院名〕  
〔民名〕

兵庫	大京滋石岐尾三静	長富	東埼	茨群福宮	青山	北海道第一	名譽会員
	阪都賀川阜張河岡	野山	京玉	城馬島城	形森	西	
攝陽東相	武崎南高城豐須伊那諷訪水波	小原	第三	猿島常總	太田中央	下第一	
泉南	第三瀬野川清川水	北部	浅草	中太田	北	第一	
大林觀音寺	大觀音寺乘雲寺	玄門寺	上實柏來	善光寺	弘法雷寺	西方寺	本覺寺
寺	一長安寺	心門寺	相柏心	尊導寺	光林寺	圓經寺	稱念寺
木池	木高若牧	木加藤	木中村	木安服	木湯地	木石宇	木無量壽寺
鶴田	木下上	木井川	木高木	木井川	木北川	木金田	木佐伯
達昭幹祥	良恭俊達	孝一	孝康	釋德	惠融	正順	豊彦
雄信夫	隆成行	玄朗	顯瑞	海真	修常	順也	英學

賛助会員  
(所属は納入時)

[教区／組]  
〔寺院名〕  
〔民名〕

福島	宮城	山秋	岩手	青森	北海道第一	東北	福岡	宗像	教安寺	橋本	定雄
会津中央	第六浜通り	第三酒田	下中	上山形	県南	花卷	盛岡	東北	弘南	南	
長良川寺	高巖寺	善淨寺	増極淨寺	雲林寺	宝樹寺	来願寺	佛向寺	梵行寺	廣隆寺	大成寺	成寺
大渡斧橋部	中小河川	柴田中	東海林	齋藤藤	伊藤	佐芦	東谷井澤	吉澤工藤	谷地	松岡赤平	渡部藤井
智成法海	隆敏成	典昭宣	秀良雲	浩明	知雄	正順	信昭	常信	隆好	明仁	祐之
静岡諏訪	長野上	高内小	新川	富山富水	波佐渡	小田原	三浦鎌倉	高座港	葛南京浜	千葉葛南	千葉葛南
江來芳寺	淨淨寺	淨淨寺	淨淨寺	西德寺	西德寺	西德寺	西德寺	西德寺	西德寺	西德寺	西德寺
佐原寺	大泉寺	大泉寺	大泉寺	西願寺	西願寺	西願寺	西願寺	西願寺	西願寺	西願寺	西願寺
鶴服柳	藤倉子林	兼子林	若村井	梅長谷	越戸小柳	吉山	宮口吉田	宮嶋杉浦	白石柴田	大島里見	佐藤長谷川
俊德真	隨康敏	聖善	純寬	正由	良彰	正弘	知浩	常信	仁好	明玄	祐誠
昭瑞	康敏	昭宣	秀良	雲明	光明	海弘	昭昭	信昭	德昭	彥祐	正彦

正会員  
(所属は納入時)

[教区／組]  
〔寺院名〕  
〔民名〕

兵庫	大阪和歌山	奈良第一	京都	滋賀	石川伊勢	尾張三河	群馬	栃木	茨城	福島	群馬
神戸	第二河瀬	東清堀	西清堀	第五和歌山	第一丹後	嵯峨八幡	甲賀	湖南	大津鴨川	東京	埼玉
通願院	淨照院	顯長寺	心光寺	念佛寺	念佛寺	光念寺	神崎	大津	東京	第一	太田
願松寺	淨福寺	傳心寺	光恩寺	稱名院	念佛寺	正定院	正定院	西福寺	西福寺	西福寺	西福寺
佐野	濱大杉	森石畠	北川岡崎	山藤堂	江川志野	牛中島	半田内藤	黑川八嶋	田嶋高橋	口周	西河
快諭元	道徳正	義昭隆	正運	正運	正運	正運	正運	正運	正運	正運	正運
壽	眞	顯誠	彌顯	彌顯	彌顯	彌顯	彌顯	彌顯	彌顯	彌顯	彌顯

正会員  
(所属は納入時)

[教区／組]  
〔寺院名〕  
〔民名〕

兵庫	南北西東	小樽	室蘭	北海道第一	函松	長佐福岡	山口	広島	鳥取	三河	西駿
神戸	第二河瀬	東清堀	西清堀	第五和歌山	第一丹後	嵯峨八幡	甲賀	湖南	大津鴨川	東京	埼玉
通願院	淨照院	顯長寺	心光寺	念佛寺	念佛寺	光念寺	神崎	大津	東京	第一	太田
願松寺	淨福寺	傳心寺	光恩寺	稱名院	念佛寺	正定院	正定院	西福寺	西福寺	西福寺	西福寺
佐野	濱大杉	森石畠	北川岡崎	山藤堂	江川志野	牛中島	半田内藤	黑川八嶋	田嶋高橋	口周	西河
快諭元	道徳正	義昭隆	正運	正運	正運	正運	正運	正運	正運	正運	正運
壽	眞	顯誠	彌顯	彌顯	彌顯	彌顯	彌顯	彌顯	彌顯	彌顯	彌顯

山形	秋田	岩手	青森
鶴上岡	山形置賜	県央氣仙	花卷
常來寺	西光寺	善明寺	正覺寺
念運寺	相念寺	願尊寺	觀音寺
渡邊谷	渥美川	高田小三鬼	廣隆寺
美美村	渥美橋	菅原中水	多善寺
藤熊宮	佐野熊	野吉水	光明寺
高宮	小原海	吉水	寶國寺
美	美	谷地	圓光寺
橋	橋	黑沢	大泉寺
熊	熊	柴内	來迎寺
宮	宮	瀬	淨土寺
		加藤	光臺寺
		木村	淨滿寺
		葛西	松壽寺
		久慈	光明寺
		古川	稱光寺
		菊池	藥王寺
		石田	願昌寺
		長尾	大善寺
		三上	頤昌寺
		大屋	方田寺
		澤	法藏寺
		小山	天德寺
		内	阿弥陀寺
			北泉岳寺
			皆上
			周田
			丸山
			片山
			泰信
			淨教

城南	城西	豐島	江東	淺草	北部
安蓮社	榮立院	專心寺	戒法寺	城北	北部
清林寺	正受院	柴村	清岸寺	浅草	浅草
椎尾	原口	吉田	惠念寺		
長谷川	長谷川	布村	專念寺		
岱潤	東運寺	大村	心寺		
匡人	梅窓院	岡本	寺		
知海	善光寺	佐藤	柴村		
真空	長安寺	良純	吉田		
了寬	法藏院	宣丈	嘉海		
	光圓寺	知彰	堯海		
	淨心寺	伸哉	真空		
	功德林等	哲哉			
	圓通寺	信英			
	仲台寺	憲惠			
	正覺院	觀惠			
	西光寺	真成			
	安養寺	信信			
	大雲寺	弘信			
	明福寺	隆信			
	神田寺	憲信			
	法林寺	正弘			
	龍寶寺	信彰			
	樞寺	伸哉			
	長壽院	哲哉			
	正定寺	信英			
	淨光寺	秀美			
	貞源寺	賢兆			
	保元寺	信彰			
	瑞泉寺	信英			
	淨正寺	秀美			
	高田	賢兆			
	多賀谷	信彰			
	後藤	信英			

西門寺	法隨院	島崎大谷	豊彦義宣
正安寺	光增寺	田丸	忠夫
慶岸寺	蟠龍寺	桑原吉田	秀雄
不斷院	淨真寺	清水田中	正仁
龍泉寺	蟠龍寺	佐藤武田	健司
蟠龍寺	淨真寺	佐藤吉田	將彦
正藏寺	圓德寺	笠原	嶺信
海藏寺	普濟院	藤井	忠夫
開善院	林海庵	三池	泰淳
最勝院	大林寺	三池	祥亮
大念寺	桂林寺	藤井	光成
大蓮寺	南龍寺	長谷川	文雄
光明寺	極樂寺	千野	憲之
正應寺	正藏寺	江口	道正
桂林寺	桂林寺	大島	直貴
專稱寺	南龍寺	宮林	到覺
光明院	正藏寺	白幡	泰巨
大光院	桂林寺	永田	仁司
淨念寺	南龍寺	夏見	俊雄
正運寺	正藏寺	石川	泰央
西運寺	桂林寺	里見	嘉明
知足寺	正應寺	坂野	義雄
高德院	桂林寺	坂野	洋之
本還寺	源正寺	佐藤	宗順
常光寺	源正寺	佐木	定德
道場院	大宝寺	阿川	孝雄
西念寺	不斬寺	坂野	泰央
	高德院	佐木	仁司
	知足寺	相馬	俊雄
	高德院	杉浦	泰巨
	本還寺	坂野	義雄
	常光寺	坂野	洋之
	道場院	佐藤	宗順
	西念寺	佐木	定德

新潟	山梨	長野	富山
高田	山梨	長野	水波
新潟	富山	富山	新潟
水波	新川	水波	高田
長野	富山	富山	新潟
長野	水波	水波	新潟
專称寺	善導寺	大仙寺	大辻
寶樹寺	法善庵	石川	隆善
西願寺	專福寺	横川	滿祐
長谷川	堂明坊	眞岸	秀雄
長谷川	白蓮坊	常川	勝彦
長谷川	正智坊	常川	顯雄
長谷川	兄部坊	横川	秀雄
長谷川	淵之坊	黒川	善政
長谷川	向佛坊	若麻績	法信
長谷川	鏡善坊	若麻績	淨法
長谷川	正信坊	若麻績	秋嘉
長谷川	淨願坊	若麻績	正宏
長谷川	德行坊	若麻績	信昭
長谷川	隨行坊	若麻績	修英
長谷川	西方寺	若麻績	英見
長谷川	往生寺	若麻績	堯史
長谷川	觀音寺	若麻績	敬史
長谷川	蓮心寺	若麻績	春美
長谷川	佛導寺	若麻績	榮真
長谷川	圓通院	若麻績	善隆
長谷川	十念寺	若麻績	公雄
長谷川	西光寺	若麻績	順雄
長谷川	寬慶寺	若麻績	英輝
長谷川	觀音寺	若麻績	正純
長谷川	靜松寺	若麻績	俊雄
長谷川	延命庵	若麻績	英明
長谷川	靜松寺	若麻績	幸隆
長谷川	寶樹院	若麻績	里香
長谷川	淨運寺	若麻績	尚史
長谷川	正滿寺	若麻績	弘信
和田	阿部	若麻績	典雄
和田	清水	若麻績	典善
和田	小林	若麻績	
和田	古田	若麻績	
和田	丸山	若麻績	
和田	袖山	若麻績	
和田	辻田	若麻績	
和田	水野	若麻績	
和田	水科	若麻績	
和田	新出	若麻績	
和田	根井	若麻績	
和田	中嶋	若麻績	
和田	金子	若麻績	
和田	吉水	若麻績	
和田	丸山	若麻績	
和田	袖山	若麻績	
和田	小柳	若麻績	

法光寺 来迎寺 笠島 小口  
法泉寺 長久寺 岩波 服部  
見宗寺 峯高寺 新村 章應  
來迎寺 法泉寺 笠島 小口  
柏心寺 長久寺 岩波 服部  
安養寺 見宗寺 峯高寺 新村 章應  
海善寺 柏心寺 長久寺 岩波 服部  
願成寺 安養寺 見宗寺 峯高寺 新村 章應  
香福寺 柏心寺 長久寺 岩波 服部  
榮昌寺 海善寺 見宗寺 峯高寺 新村 章應  
法岸寺 香福寺 見宗寺 峯高寺 新村 章應  
松壽院 法岸寺 香福寺 見宗寺 峯高寺 新村 章應  
林昌寺 松壽院 法岸寺 香福寺 見宗寺 峯高寺 新村 章應  
野上 長尾 筱田 明憲  
鵜飼 長尾 筱田 明憲  
魚尾 安藤 小口 秀孝  
寺田 安藤 小口 秀孝  
鳥山 安藤 小口 秀孝  
黑野 大光明 德瑞  
橋村 大光明 德瑞  
立松 黑野 大光明 德瑞  
神谷 大光明 德瑞  
立松 黑野 大光明 德瑞  
林 神谷 大光明 德瑞  
村瀨 神谷 大光明 德瑞  
瀨木 神谷 大光明 德瑞  
鈴木 神谷 大光明 德瑞  
立松 神谷 大光明 德瑞  
松坂 中島 永谷 鈴木 仁義  
黑野 中島 永谷 鈴木 仁義  
秋田 佐久間 鈴木 仁義  
岡田 伊藤 木村 安西 仁義  
住田 村倉橋 伊藤 木村 安西 仁義  
心寺 行福寺 願成寺 隣松寺 性源寺 九品院 光忠寺 閑通寺 大恩寺 神泉寺 長谷寺 最勝院 光輝院  
靈寺 行福寺 願成寺 隣松寺 性源寺 九品院 光忠寺 閑通寺 大恩寺 神泉寺 長谷寺 最勝院 光輝院  
清淨院 弘誓院 蓮馨寺 善入院 三光院 大聖寺 養福寺 清淨寺 延命寺 上善寺 栖了院 城寶寺 香福寺  
德信寺 心寺 行福寺 願成寺 隣松寺 性源寺 九品院 光忠寺 閑通寺 大恩寺 神泉寺 長谷寺 最勝院 光輝院  
明憲寺 義昭寺 亨臣 真我 恒文 義昭  
厚志寺 智德寺 亨臣 真我 恒文 義昭  
章應寺 智德寺 亨臣 真我 恒文 義昭  
明憲 義昭 亨臣 真我 恒文 義昭  
達祐 義昭 亨臣 真我 恒文 義昭  
秀孝 義昭 亨臣 真我 恒文 義昭

京都

鴨川

大津

京極

大官

一  
条

洛南

嵯峨

南城

雄弘	宗央
英善	俊雄
良善	宏壽
泰文	精司
妙瑞	光信
農晴	信定
隆善	裕康
從道	隆明
達成	祥淳
順孝	昌夫
史彥	泰明
芳浩	良樹
信祐	靜夫
秀應	秀夫
貞絃	信弘
幸次	圓純
昌隆	泰雄
正信	敬俊
良治	智廣
正俊	正善
信雄	康裕
信弘	敬俊
圓純	敬俊
泰雄	信弘
敬俊	圓純
智廣	泰雄
正善	敬俊
康裕	信弘

奈良

第一	第六	第七	第八	第九	第十	第十九	第十八	第十七	丹後	船桑	龜岡	西光寺	木村	
極樂寺	奧院	常谷寺	阿日寺	本願寺	極樂寺	寶嚴寺	長德寺	榮照院	天然寺	淨仙寺	安樂寺	教傳寺	晴明寺	專念寺
極樂寺等	靈巖等	等	等	等	等	等	等	等	等	等	等	等	等	等
出口	大澤	清水川	中川	細川	三宅	瀬戸	牛田	中島	嵐	田中	大澤	奥田	久松	内藤森
樂音寺	大橋	小塚	小田	直指庵	阿弥陀寺									
											極樂寺	平田	上田	長谷母
											井上	半田	半田	正定院
											念佛寺	念佛寺	念佛寺	法然寺
											龜岡寺	龜岡寺	龜岡寺	藥師寺
											稱名寺	稱名寺	稱名寺	念佛寺
											大恩寺	大恩寺	大恩寺	常福寺
											長安寺	長安寺	長安寺	西光寺
											教傳寺	教傳寺	教傳寺	船桑
											晴明寺	晴明寺	晴明寺	龜岡
											真田	真田	真田	木村
											和田	和田	和田	丹後
											田中	田中	田中	丹後
											平野	平野	平野	丹後
											奥田	奥田	奥田	丹後
											北元	北元	北元	丹後
											嵐	嵐	嵐	丹後
											田中	田中	田中	丹後
											中島	中島	中島	丹後
											古寺	古寺	古寺	丹後
											牛田	牛田	牛田	丹後
											森本	森本	森本	丹後
											小野	小野	小野	丹後
											羽渕	羽渕	羽渕	丹後
											柴山	柴山	柴山	丹後
											紀氏	紀氏	紀氏	丹後

船系

龟阵

---

大和

丹後

東清堀 西清堀 生玉 大江 有田 相阪 和歌山 歌山

東清圖

滿願寺	永禪寺
西蓮院	大蓮寺
吉祥寺	壽法寺
法善寺	見性寺
源正寺	法善寺
極樂寺	安樂寺
大圓寺	寶樹寺
哀愍寺	願生寺
淨國寺	大蓮寺
光明寺	淨光寺
善福寺	大雲寺
幸念寺	大雲寺
金臺寺	銀山寺
光明寺	增福寺
淨國寺	大善寺
光聖寺	光聖寺
大雲寺	實相寺
圓通寺	天性寺
法泉寺	源光寺
光聖寺	念佛寺
大雲寺	蓮生寺
西光院	大善寺
洞泉寺	誓福寺
西念寺	誓安寺
大應寺	天性寺
心眼寺	法泉寺
天乳寺	大雲寺

生平

鷺尾 山本 中谷 中山 飯田 山下  
神田 川村 家田 伊藤 齊藤 上田  
好川 片山 井桁 大河内  
津留 長岡 井桁  
秋田 片山  
長岡 長合雄  
柴田 柴田  
未高 未高  
西島 西島  
安達 安達  
横瀬 横瀬  
秋田 秋田  
戸井 戸井  
西成 西成  
龟井 龟井  
伊藤 伊藤  
得田 得田  
萱野 萱野  
香川 香川  
山中 山中  
日比 日比  
小川 小川  
本 岩崎 深澤 萱野

大江

至廣正武志峰英真宏見宥眞晃順之良寬暢時眞見良廣順慈義孝弘雅勝雄壯  
順浩博嗣周晃道晴忠之章裕孝史善浩清彦克實裕昭重敬利治融志昇司隆雄俊英啓瑞泰史隆春隆玄  
順浩博嗣周晃道晴忠之章裕孝史善浩清彦克實裕昭重敬利治融志昇司隆雄俊英啓瑞泰史隆春隆玄

相阪

---

[View Details](#) | [Edit](#) | [Delete](#)

和歌山

第一河 河北 北 溝 東 溝 天 滿

北  
摺

大信寺 大阪光寺  
長徳寺 九品寺  
善導寺 奥之坊  
冷雲院 蟒龍寺  
妙香院 法界寺  
法界寺 西福寺  
提法寺 西福寺  
源光寺 西福寺  
壽松院 西念寺  
專修寺 寿松院  
阿弥陀院 西念寺  
理安寺 西念寺  
西王寺 寿松院  
清淨寺 長樂寺  
興樂寺 法住寺  
乘福寺 常福寺  
長樂寺 法住寺  
淨國寺 長樂寺  
安樂寺 考園寺  
西觀音寺 淨土院  
法泉寺 豐國寺  
法藏寺 朝日寺  
慧光院 乘寺  
淨土院 豪鏡寺  
一乘寺 淨蓮寺  
觀音寺 一乘寺  
正念寺 淨蓮寺  
稱念寺 觀音寺  
釋尊寺 正念寺  
明遍寺 称念寺  
長福寺 釋尊寺  
西向寺 明遍寺

東  
指

川久保 松田 増山  
谷田 太田 池上  
奥村 松田  
豊川 松浦 小林  
藤野 伊藤 小原  
小原 神谷 中川  
中川 小原  
寺村 富永 磯部  
山下 小林 西田  
坂口 飯田 田中  
足立 渡辺 中林  
真田 井上 田中  
西浦 文庫 田中  
円通 一法 小原  
横井 井上 岡田  
豊川 田中 田中  
藤野 奥村 増山  
伊藤 川久保

河北

善隆英純三惠三良壽皇圓探成正敬光司知廣信道真教俊定順功元明可一忠和寬雄君雄法信泰伸周道俊立德海旭章道光彥雅彥靈瑞有豐良隆博文穩和道哉榮達勝紀義寬真證孝雄恭司法淳正進光範龍彥



## 一般寄付納入者（所属は納入時）

(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

[教区] [組] [寺院名] [氏名] [金額]

東京芝 八王子 林海庵 寶松院 松濤泰彦 一〇,〇〇〇円

東京八王子 林海庵 笠原泰淳 一〇,〇〇〇円

山梨山梨 養安寺 大辻隆善 一〇,〇〇〇円

鳥取因幡 専念寺 野村隆康 三〇,〇〇〇円

尾張城南 雲谷寺 田中康道 四〇,〇〇〇円

愛媛東予 西蓮寺 限江道雄 一〇,〇〇〇円

愛媛松本 長建寺 墾江哲司 一〇,〇〇〇円

## 指定寄付納入者（所属は納入時）

(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

[教区] [組] [寺院名] [氏名] [金額]

東京芝 天光院 真野威人 二〇〇,〇〇〇円

フランス開教地へ フランス開教地へ

東京玉川 淨眞寺 清水英穎 二〇〇,〇〇〇円

ハワイ開教区へ

## 浄土宗開教振興協会 事業報告

### 協会事業

#### ①出版事業

・開教振興協会会報「開教」第32号発行	8,000部
・『Pure Land Life』(英語版) 第28号発行	3,000部
・月訓カレンダーポルトガル語版(南米開教区へ)	4,000部
*文化局から贈呈*	
・月訓カレンダー ハワイ開教区	645部
北米開教区	385部
オーストラリア開教地	50部
フランス開教地	30部
国内開教地域(3ヶ寺)	120部
ハワイ開教区	60部
北米開教区	85部
オーストラリア開教地	50部
フランス開教地	30部
国内開教地域(3ヶ寺)	120部

#### ②推進協力事業

##### 1. 国内開教地域への支援

- (1) 浄土宗新聞・行事シリーズ・かるな・てらこやブックス等の配布  
　　浄土宗国内開教指定地域に対し、指定解除まで無償配布。(3ヶ寺)
- (2) 国内開教使活動費助成  
　　3期終了(宗からの助成金終了)の国内開教使に対し、申請に基づき活動費を助成。(1ヶ寺)

##### 2. 海外開教区への支援

- (1)ハワイ開教区
  - (2)南米開教区
  - (3)オーストラリア開教地
- 120周年記念事業準備  
訪問布教用車両購入補助  
写経会事業助成  
東日本大震災追悼法要事業助成

##### 3. その他事業

- (1)第5回開教公開カンファレンスの開催
  - 【日 時】 平成27年2月5日(木) 午後1時～午後5時
  - 【会 場】 大本山増上寺「慈雲閣」
  - 【テ マ】 浄土宗の国内開教事業について
  - 【内 容】 ①国内開教事業方針説明  
②国内開教使経験者による活動報告(3名)  
③パネルディスカッション、質疑応答
  - 【参加人数】 約60名

## 浄土宗開教振興協会 役員名簿

平成28年2月18日現在

役職	氏名	教区・役職	所属寺院
会長	豊岡 鑑尔	宗務総長	
副会長	杉山 俊明	社会国際局長	
	山本 正廣	教学局長	
	樋口 英信	福岡	長徳寺
理事長	鈴木 宏侑	東京	正覚寺
副理事長	田中 康道	尾張	雲谷寺
常務理事	神田 真晃	大阪	法善寺
	本田 行敬	石見	極楽寺
	江口 隆定	千葉	大蓮寺
理事	茂木 恵順	群馬	雲晴院
	高橋 宗憲	北海道第二	長專寺
	斎藤 裕慈	福島	光明寺
	川村 一紀	静岡	西福寺
	眞岸 勝彦	富山	曼陀羅寺
	静永 進瑞	滋賀	法林寺
	大江田 純義	宮城	西方寺
	笠原 泰淳	東京	林海庵
	大橋 章孝	奈良	阿日寺
監事	大谷 秀穂	東京	法然寺
	山川 正道	滋賀	正福寺

## 浄土宗開教振興協会 入会員数

平成26年度	入会員数
名譽会員	0名
賛助会員	0名
正会員	1,167名

平成26年度  
浄土宗開教振興協会歳入歳出決算書

平成26年4月1日～同27年3月31日

**基本資金部【歳入の部】**

(単位:円)

款項	目	平成26年度 予算額	平成26年度 決算額	予算との 比較増減	節	節金額	摘要
1.	会費収入	1,400,000	0	△ 1,400,000			
1.1.	特別会費収入	1,400,000	0	△ 1,400,000			
1.1.1.	名誉会員会費収入	1,000,000	0	△ 1,000,000	1. 名誉会員会費	0	100万円×0人
1.1.2.	賛助会員会費収入	400,000	0	△ 400,000	1. 賛助会員会費	0	20万円×0人
2.	積立金受入収入	143,810,000	143,810,000	0			
2.1.	積立金受入収入	143,810,000	143,810,000	0			
2.1.1.	積立金受入収入	143,810,000	143,810,000	0	1. 積立金受入金	143,810,000	
3.	返済金収入	0	0	0			
3.1.	貸付金返済収入	0	0	0			
3.1.1.	貸付金返済収入	0	0	0	1. 国内開教指定寺院 貸付金返済金	0	
<b>歳入合計</b>		<b>145,210,000</b>	<b>143,810,000</b>	<b>△ 1,400,000</b>			

**基本資金部【歳出の部】**

(単位:円)

款項	目	平成26年度 予算額	平成26年度 決算額	予算との 比較増減	節	節金額	摘要
1.	積立金積立	145,210,000	143,810,000	△ 1,400,000			
1.1.	積立金積立	145,210,000	143,810,000	△ 1,400,000			
1.1.1.	積立金積立	145,210,000	143,810,000	△ 1,400,000	1. 積立金積立	143,810,000	
2.	貸付金支出	0	0	0			
2.1.	貸付金支出	0	0	0			
2.1.1.	貸付金支出	0	0	0	1. 稲学貸付金	0	
					2. 開教区貸付金	0	
					3. 国内開教貸付金	0	
					4. 運用資金部貸付金	0	
<b>歳出合計</b>		<b>145,210,000</b>	<b>143,810,000</b>	<b>△ 1,400,000</b>			

**運用資金部【歳入の部】**

(単位:円)

款項	目	平成26年度 予算額	平成26年度 決算額	予算との 比較増減	節	節金額	摘要
1.	会費収入	11,500,000	11,670,000	170,000			
1.1.	正会員会費収入	11,500,000	11,670,000	170,000			
1.1.1.	正会員会費収入	11,500,000	11,670,000	170,000	1. 正会員会費	11,670,000	会員数 1,167名
2.	寄付金収入	300,000	710,000	410,000			
2.1.	特別寄付金収入	300,000	710,000	410,000			
2.1.1.	特別寄付金収入	300,000	710,000	410,000	1. 一般寄付収入	210,000	一般寄付金の受入
					2. 指定寄付収入	500,000	指定寄付金の受入
3.	財産運用収入	500	295	△ 205			
3.1.	資金運用収入	500	295	△ 205			
3.1.1.	預貯金利子収入	500	295	△ 205	1. 基本資金利子	0	基本資金部口座は利息なし
					2. 運用資金利子	295	
4.	雑収入	0	0	0			
4.1.	雑収入	0	0	0			
4.1.1.	諸収入	0	0	0	1. 諸収入	0	
5.	繰越金	12,925,015	12,925,015	0			
5.1.	繰越金	12,925,015	12,925,015	0			
5.1.1.	繰越金	12,925,015	12,925,015	0	1. 繰越金	12,925,015	平成25年度会計繰越し
<b>歳入合計</b>		<b>24,725,515</b>	<b>25,305,310</b>	<b>579,795</b>			

## 運用資金部【歳出の部】

(単位:円)

款項	目	平成26年度 予算額	平成26年度 決算額	予算との 比較増減	節	節金額	摘要
1. 会議費		2,220,000	1,074,607	△ 1,145,393			
1. 理事会	1. 理事会	1,690,000	633,847	△ 1,056,153			
	1. 理事会	1,430,000	633,847	△ 796,153	1. 理事会	633,847	2回開催(旅費)
	2. 常務理事会	260,000	0	△ 260,000	1. 常務理事会	0	
2. 監査会	1. 監査会	50,000	47,520	△ 2,480			
	1. 監査会	50,000	47,520	△ 2,480	1. 監査会	47,520	1回開催(旅費)
3. 企画委員会	1. 企画委員会	480,000	393,240	△ 86,760			
	1. 企画委員会	480,000	393,240	△ 86,760	1. 企画委員会	393,240	4回開催(旅費)
2. 事業費		11,760,000	6,180,335	△ 5,579,665			
1. 出版費		3,400,000	2,276,586	△ 1,123,414			編集経費／印刷製本費他
	1. 会報発行費	1,100,000	802,440	△ 297,560	1. 開教発行費	802,440	『開教』発刊 年1回
	2. 教化資料等出版費	2,300,000	1,474,146	△ 825,854	1. 英字新聞発行費	438,806	『Pure Land Life』発行 年1回
					2. 教化資料出版費	1,035,340	教化資料出版／ボーグ版月刊カレンダー他、含送料
					3. 広報資料費	0	
2. 推進協力費		8,360,000	3,903,749	△ 4,456,251			
1. 事業支援費		8,360,000	3,903,749	△ 4,456,251	1. ハワイ開教区	1,000,000	開教 120周年記念諸事業
					2. 北米開教区	0	
					3. 南米開教区	1,000,000	車両購入
					4. 海外開教地事業費	486,645	豪震災追悼法要、写経会、総監会議出席旅費
					5. 国内開教指定地域	566,508	教化資料支援費(3ヶ寺)、事業助成(1ヶ寺)
					6. 企画・調査費	0	
					7. 広報事業費	505,996	カンファレンス運営費
					8. その他事業費	344,600	開教地打合せ旅費等
3. 特別指定寄付金		100,000	499,999	399,999			
1. 特別指定寄付金	1. 特別指定寄付金	100,000	499,999	399,999			
	1. 特別指定寄付金	100,000	499,999	399,999	1. 特別指定寄付金	499,999	指定寄付金の支出
4. 補助費		300,000	0	△ 300,000			
1. 補助費	1. 補助費	300,000	0	△ 300,000			
	1. 補助費	300,000	0	△ 300,000	1. 補助費	0	
5. 渉外費		200,000	0	△ 200,000			
1. 渉外費	1. 渉外費	200,000	0	△ 200,000			
	1. 渉外費	200,000	0	△ 200,000	1. 渉外費	0	
6. 事務費		2,253,000	1,649,615	△ 603,385			
1. 事務費	1. 事務費	700,000	369,039	△ 330,961			
	1. 事務費	700,000	369,039	△ 330,961	1. 事務費	369,039	需用費／役務費／備品購入
2. 会員募集事務費	1. 教区還付費	1,553,000	1,280,576	△ 272,424			
	1. 教区還付費	1,153,000	1,167,000	14,000	1. 教区還付費	1,167,000	教区事務費交付(26年度分)
	2. 募集活動費	400,000	113,576	△ 286,424	1. 募集活動費	113,576	会費再請求諸費用
7. 予備費		7,892,515	0	△ 7,892,515			
1. 予備費	1. 予備費	7,892,515	0	△ 7,892,515			
	1. 予備費	7,892,515	0	△ 7,892,515	1. 予備費	0	
歳出合計		24,725,515	9,404,556	△ 15,320,959			

本年度運用資金部の歳入総額は ￥ 25,305,310 である

本年度運用資金部の歳出総額は ￥ 9,404,556 である

したがって、次の会計余剰金が生じたので、翌年度に繰り越す措置を取る

本年度の運用資金部余剰金 ￥ 15,900,754

# 平成26年度 振興協会教区別会員数

会員数1,200(全寺院数の約17%)を目標としております。ご協力お願ひいたします。

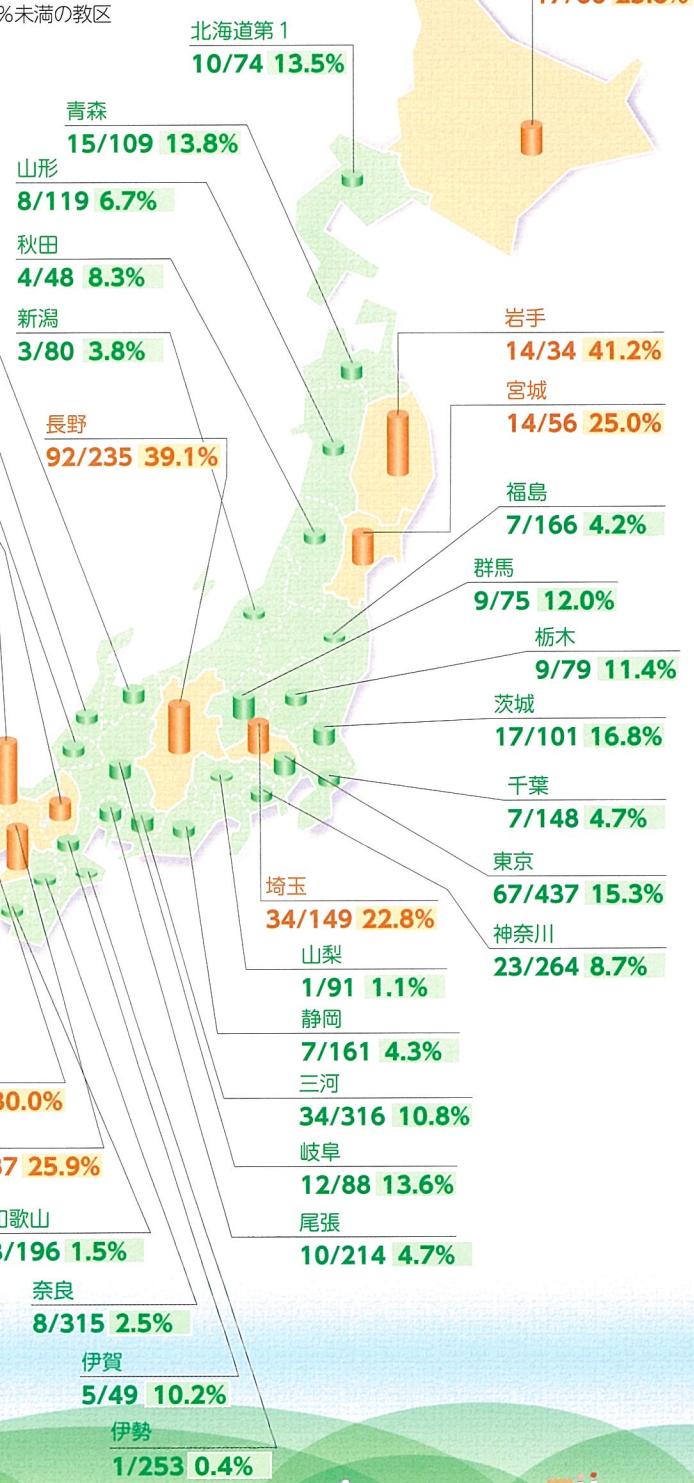
教区内全寺院数に対する正会員の割合が17%以上教区

教区内全寺院数に対する正会員の割合が17%未満の教区

教区

正会員数 / 総寺院数 正会員率

富山	6/64 9.4%	
石川	3/40 7.5%	
福井	2/85 2.4%	
滋賀	81/471 17.2%	
石見	5/51 9.8%	
広島	4/75 5.3%	
山口	5/140 3.6%	
福岡	15/260 5.8%	
佐賀	2/90 2.2%	
長崎	12/67 17.9%	
熊本	1/89 1.1%	
三州	6/44 13.6%	
愛媛	10/69 14.5%	
大分	5/57 8.8%	



# 海外・ 国内開教使 募集!!



世界が舞台です！

ハワイ、北米、南米の海外3開教区、オーストラリア（ブリスベン）、フランス（パリ）の両開教地が浄土宗の海外開教の拠点です。

開教最前線で活動する事により、僧侶としてはもちろん、自身の語学力ももちろん必要ですが、大事なのはあなたの「やる気」です。

興味のある方は左記までぜひお気軽に問い合わせください。

寺院を建立してみませんか？

あなた自身、国内開教使として開山上人になつてみませんか？寺院の建立は、社会情勢の変化や人口流動などが進む平成のこの時代であるからこそ、必要なことです。

全国に新寺が続々と建立されています。機は熟しました。今こそあなたのその力が必要なのです。

お問い合わせ先

浄土宗 社会国際局 開教担当

〒105-0011 東京都港区芝公園4-7-4

Tel.03-3436-3351(代)

Eメール kaikyo@jodo.or.jp

編集後記

本号発刊にあたり、当協会会員の皆様、関係ご寺院の皆様におかれましては、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

また、諸般の事情により通常より遅れての発刊およびお届けとなりましたことを謹んでお詫び申し上げます。

さて本号では、各開教区・開教地で行なわれた記念事業の報告や地域社会との交流事業の紹介のほか、浄土宗開教振興協会の事業紹介などを掲載させていただきました。

国内開教をテーマに開催した「第5回開教公開カンファレンス」では、ゼロから寺院を設立された元国内開教使による活動報告およびディスカッションが行なわれましたが、人の集う寺院を目指し日々布教活動に励んでおられる諸師の熱意に敬意を表します。

日本国内においては、「寺離れ」「仏教離れ」が叫ばれる昨今の流れを食い止めようと、お寺にお参りいただくにはどのようにしたら良いのか、各寺院が様々な事業に取り組んでおられます。同様に、記事にもありますように、各海外開教区・開教地においても、日本とは異なる風習や文化の中で浄土宗・法然上人のみ教えを広めるべく、その地域社会に如何にして溶け込むか試行錯誤を繰り返しながら奮闘しておられます。当協会ではその一助となるべく様々な支援を行なっておりますので、今後とも引き続き皆様からのご支援を賜りますようお願い申し上げます。

末筆となりましたが、今回ご寄稿を賜りました諸師、編集にご協力いただきました関係各位に深く感謝申し上げます。今後とも紙面充実を目指して参りますので、有縁の方々のご教導をお願い申し上げます。

合掌

開教 第33号 平成28年3月31日発行

編集／発行 浄土宗開教振興協会  
東京都港区芝公園4-7-4 浄土宗社会国際局内  
Tel.03-3436-3351 Fax.03-3434-0744

制 作 表紙・デザイン：株式会社 北陸スタッフ  
印刷：株式会社 共立社印刷所



## 浄土宗開教振興協会 ご入会のお願い

浄土宗開教振興協会は、昭和51年の設立以来、開教活動を支援してまいりました。海外開教については、既存の開教区に加えて、平成15年に海外開教地として指定されたオーストラリア、フランスの2地区に対しても支援しております。

また、国内開教についても、多くの国内開教使の活動に対して、平成15年より本格的に支援を開始しております。

新たにお念仏をひろめるための礎が徐々に、確実に進んでおりますが、国内外ともに、これらの事業を円滑に遂行させるためには、開教振興協会の正会員増加による活動資金の強化安定は絶対条件であります。当協会の支援活動を尚一層充実させるため、一人でも多くの教師諸大徳に「正会員」としてのご入会をお願い申し上げます。

※協会の会費・寄付は功績点が付与されます。

※ご入会の有無がご不明な方は、担当までお問い合わせください。

### ■ 本協会は次の事業を行なっております

- ① 開教思想の普及徹底
- ② 開教事業の調査研究
- ③ 国内開教指定地域への助成
- ④ 海外開教区・開教地への助成
- ⑤ 開教使の養成

### ■ 会費の納入および 新会員の入会について

所属教区教務所を経てご納入またはご入会いただくか、下記の口座に直接ご納入くださるようお願い申し上げます。

寄付金および会費振込口座

郵便振替 00160-5-175767  
浄土宗開教振興協会

### ■ 会員の種類

- ①名誉会員 本協会の基本資金として100万円以上の寄付をされた方・本協会に特に功労があり理事会で推薦された方
- ②賛助会員 本協会の基本資金として20万円以上の寄付をされた方
- ③正会員 本協会の運用資金として年額1万円の会費を納入された方

### ■ 功績点の付与

寄付金および会費については、次のように僧階の功績点が付与されます。

- ①一般勧募寄付金  
・20万円に対して1点
- ②個人寄付金  
・5万円に対して1点

【問合先】

浄土宗開教振興協会

〒105-0011 東京都港区芝公園4-7-4 (浄土宗社会国際局内)  
TEL.03-3436-3351 FAX.03-3434-0744